

「古戦場公園再整備基本計画」についてのパブリックコメントの実施結果

- 1 意見募集案件名
古戦場公園再整備基本計画
- 2 募集期間
平成29年1月12日（木）から平成29年2月10日（金）まで
- 3 閲覧場所
生涯学習課窓口、市ホームページ、市役所西庁舎1階行政情報コーナー
- 4 募集結果
7名
- 5 提出された意見及び意見に対する市の考え方

	意見	市の考え方
1	<p>古戦場公園の腐朽菌感染したサクラについて</p> <p>過去の管理記録を市民に公開していただき、現状に至った原因を明らかにして今後同じ事を繰り返さない対策を立案する</p> <p>「サクラの保護、腐朽菌感染の予防」を目的とした市民活動の許可を緊急に出していただくこと</p>	<p>46ページ「既存樹木等の扱い」にあるようにソメイヨシノは、病虫害の対策、整枝を行うことを考えています。</p> <p>また、樹木に関する管理記録がないため、公開することができません。</p> <p>76ページ「公園の管理・運営」にあるとおり、市の直営のみではなく、市民活力の活用について検討することとしています。</p>

	意見	市の考え方
2	<p>いかに整備に費用をかけ、最新技術を導入しても、それらをいかに上手く運用するかが肝心です。それには合戦にまつわる史跡及び有形、無形文化財のガイドスタッフ（学芸員を含む各分野に精通した方々）の充実を図ることです。（例）年齢を問わず（生涯学習推進面からもシルバー層も含める）希望者を募り審査の上、採用する。人的な能動的対応を再優先とし、映像、VR、AR等の設備機器に頼ることなく、あくまでもそれらは補助的な機能として見るべきです。アイデアを持ち、工夫の出来るスタッフが常勤することにより、来館者の興味・関心を引き付け満足度を高めること、ひいては公園リピーターの増加にも繋がるものと確信いたします。来館者を誘致しようとする工夫が今まで感じとられず、展示資料のガイドスタッフもイベント開催を除いては配置されることなく、全くの受け身の姿勢にしか見受けられません。（もったいないと思いました）</p>	<p>スタッフについて、76ページ「ガイダンス施設の管理・運営」にあるように学芸員等の専門的な人材確保、ボランティアへの専門知識講座の開催等、人材育成について今後、検討することを考えています。</p> <p>また、78ページ「本事業における運営の方向性」にあるように運営に関しては、供用開始までに市民主体の（仮称）古戦場公園パークマネジメント組織により、その具体的な方法を検討していくことを考えています。</p>

	意見	市の考え方
3	<p>現時点で長久手市最大の歴史遺産である古戦場に関わる史跡について、犬山市、小牧市との連携が1言も謳われていないことです。「小牧・長久手の戦い」は長久手合戦だけでは語り尽くせず、その全体像を掴むのは難しいものです。両市と連携を密にして、各々の保有する歴史遺産価値を高める意味でも、また地元はもとより、全国からの歴史ファンの誘致をも見据えた文化活動が欠かせないもの考えます。(日進市をも含めオール愛知の精神も必要)</p>	<p>57ページ「展示計画の基本的な考え方」にあるように「小牧・長久手の戦い」、「長久手合戦」に関し、関係機関等へ協力を要請し、充実した資料集積を目指すことを記載しております。</p> <p>ご意見のとおり、「(犬山市、小牧市、日進市等)」を関係機関等の後に追記します。</p>
4	<p>和弓場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道場、安土の位置はこのままか？南にずらすことができればありがたい。 ・道場の入場口、審判席などについて ・道場内トイレ閉鎖後のレイアウト、水回りについて ・現資料館地下部分のレイアウトおよび附帯設備 ・安全対策 ・その他 具体的な設計立案までに意見をお聞きいただきたく御依頼申し上げます。 	<p>51ページ「和弓場改修計画」にあるように必要な改修を行うこと、また利用環境の向上を図ることを考えています。</p> <p>76ページ「運営計画の目標」にあるとおり企画から整備、管理、運営の様々なレベルで、官民が連携・協働する運営を目指すとしており、今後、和弓場の整備に関して、公園設計までに市民が参画する(仮称)市民主体のパークマネジメント組織を組織化し、意見を聞く機会を設けることを考えています。</p>
5	<p>古戦場公園は子どもからお年寄りまで幅広い人が楽しめる公園にしていきたい。</p>	<p>1ページ「古戦場公園再整備基本計画策定の趣旨」にあるように、かつての野戦場であったこの地を長久手の歴史をキーワードとした交流の場として蘇らせ、長久手市の大地に根ざした日常の営みの魅力を発揮し、観光振興に繋げることを目指します。</p>

	意見	市の考え方
6	<p>古戦場公園について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門の人の知識をもらう ・工学を利用しては<ロボットとか> ・色々な公園を視察する ・研究に研究を重ねて公園を造る ・香りの出る木を植えてほしい <p><キンモクセイ・ジンチョウゲ></p>	<p>専門知識、学識を有する有識者による有識者会議を開催しています。ここでの意見も計画に反映していきます。</p> <p>今後、公園づくりに参考となる他市町等の公園の視察も考えています。</p> <p>また46ページ「樹木管理の考え方」にあるように国指定史跡の現況植生は、「史跡長久手古戦場保存活用計画」に基づき、通景に配慮し、現状の雑木林に適正に手を加えることを考えています。</p>
7	<p>古戦場公園は、史跡エリア（国指定とは別）と公園エリアに区分する。</p> <p>史跡エリアは、国指定地域と歴史館、物見櫓</p> <p>公園エリアは、芝生広場、水揚、茶屋、散策路</p>	<p>40ページ「計画地のゾーニング・主要施設配置計画」にあるように①国指定史跡地②東側ゾーン③西側ゾーン④モニュメント用地に区分して、東側ゾーンには、集合・休養機能を持った古戦場広場、歴史解説・展示・案内機能を持ったガイドンス施設等を整備し、また西側ゾーンは、緑に包まれた環境とし歴史民俗体験施設や納屋・収蔵庫・多目的休憩所、芝生広場等を整備することを考えています。</p>

	意見	市の考え方
8	<p>「古戦場歴史館」：敷地は北西に木造二階建て地下一階</p> <p>一階は、常設展示場及び歴史案内とする。</p> <p>二階は、特別展示場及び講義室会議室</p> <p>地階は、収納庫とする。</p>	<p>52ページ「ガイダンス施設計画」にあるように、既存の郷土資料室にかわるガイダンス施設は、平屋建てとし、東側市道レベル（地階）にエレベーター、資料展示室、倉庫、会議室、資料閲覧室等を公園主利用地盤（1階）レベルにはガイダンスホール・ライブラリーカフェ等を配置することを考えています。</p> <p>本施設の主構造は、木造ではなく、展示物の保護・防災等の条件から鉄筋コンクリート造、鉄骨造を併用することを考えているため、ご意向に沿うことはできません。</p>
9	<p>「武蔵茶屋」：歴史館に隣接して設置する。木造一階建て。</p> <p>建設には古民家移築またはその用材を活用し、市民の力で時間をかけ、丁寧に建築する。（市民の建設チームの仮称；結い組）</p> <p>茶店には厨房、釜戸を設けて料理を提供する。</p> <p>茶店の名物：（まちおこしにも寄与する）</p>	<p>55ページ「歴史民俗体験施設等計画」にあるように、歴史民俗体験施設（木造等）は、長久手周辺の伝統的建築様式である鳥居造り民家を西側ゾーンに移築し、歴史民俗展示・集会・休憩施設等として利用することを考えています。</p> <p>また、同じく西側ゾーンの多目的休憩所（木造等）は、来場者の休憩、長久手の郷土料理の体験施設として利用することを考えています。</p> <p>76ページ「歴史民俗体験施設の管理・運営」にあるとおり、建設から運営まで市民の主体的参画について考えています。</p> <p>79ページ「歴史民俗体験施設・納屋・收藏庫・多目的休憩所・南庭の運営」にあるように、西側ゾーンでは、農家等の伝統建築物の建設時における小中学生や市民参加建設イベント、また、オクドや囲炉裏を使った昔の調理体験ができるように運営していくことを考えています。</p>

	意見	市の考え方
10	「物見櫓」：歴史館北、鬼門の方角に設置し、色金山、御旗山を相互に立体展望として歴史的関連付けをし、同時に（基本計画（案）の中でフィールドミュージアムとして案内図を提案しているが）ランドマークとして立体的位置付けとする。	36ページにあるように、ランドマークは物見櫓でなく、国指定史跡地の指定理由及び古戦場景観のあり方を考慮し、幟旗（のぼりばた）等を想定しているため、ご意向に沿うことはできません。
11	芝生広場：公園として市民に愛されるのは緑の芝生以外何もない空間。	45ページ「広場計画」にあるように東側ゾーン北側駐車場周辺は、芝生園地として整備することを考えています。
12	水場：幼児、家族向けの憩いの場とする。	水場の整備計画はありませんが、今後、市民参画で公園管理、運営を考える際、検討していきたいと思えます。
13	散策路：回遊路：公園内に散策路を設置し、市民に楽しんで回遊していただく。	41ページ「散策園路」にあるように国指定史跡地内は散策園路を整備することにより、国指定史跡地の環境保全と活用に寄与する秩序ある回遊導線を計画します。また44ページ「園路計画」にあるように国指定史跡地の現況樹林環境の保全と利用者の散策利用を両立させるため、既存の園路ルートを活用、整備することを考えています。
14	企画祭事 古戦場まつり 鎮魂古武術大会 古戦場サミット 古戦場茶会 合戦の映像化	79ページ「ガイダンス施設の運営」にあるようにミュージアムシアターでの映像展示、講演等、また同じく「古戦場公園の運営」にあるように野外での野戦体験イベント、古戦場桜まつり等を考えています。

	意見	市の考え方
15	古戦場公園再興記念講演	65ページ「ガイダンス施設案内・解説・展示・収蔵の構成(例)」にあるようにミュージアムシアターでは、歴史関連講義・歴史関連会議など考えています。
16	古戦場公園運営主体の設置	78ページ「本事業における運営の方向性」にあるように運営に関しては、供用開始までに市民主体の(仮称)古戦場公園パークマネジメント組織により、その具体的な方法を検討していくことを考えています。
17	色金山歴史公園整備 御旗山整備 他市内各所の史跡整備 連携 ・リニモテラス ・文化の家、中央図書館、観光交流協会、郷土史研究会など ・野外劇場の企画運営	古戦場公園以外の国指定史跡地(色金山、御旗山等)の活用、整備については、今後、史跡長久手古戦場保存活用計画で検討していきたいと考えています。 また、行政機関の連携や郷土史研究会、弓道会、観光交流協会、文化協会等が連携・組織化し、これら市民団体等が公園運営に主体的な参画できるように考えています。 35ページ「計画の基本的方向」にあるように世代を超えた交流を図るリニモテラス公益施設と訪れる人が歴史をしのぶ古戦場公園が両輪となって連携し、魅力的な長久手古戦場駅前交流環境を創造することを考えています。 79ページ「古戦場公園の運営」にあるように広場等での野外イベント等についても考えています。
18	イオンから見える所にわかりやすく大きな目立つ古戦場とわかる看板と旗を設置してほしい。	古戦場公園の場所を分かりやすくするため、45ページ「ランドマーク計画」にあるように駅前からの眺望に対するアイストップランドマーク(目印)として「幟旗」を適所(古戦場広場、公園ゲート)に配置することを考えています。

	意見	市の考え方
19	<ul style="list-style-type: none"> ・いかにも臨場感のあるリアルな戦場の再現 ・(音、明暗)最新の音響設備(4D) ・ジオラマ公園 	<p>57ページ「展示計画の基本的考え方」にあるように絵図・文献は、現代地図・現代文の併記等により、誰もが時代を遡って理解できる展示を、またジオラマや迫力のあるVR(ヴァーチャルリアリティー)技術等による多角的展示を行うことを考えています。</p> <p>またジオラマ公園の整備計画はありません。今後、市民参画で公園管理、運営を考える際、検討していきたいと思います。</p>
20	<p>史跡めぐりツアー 例(古戦場公園→血の池→富士社→耳塚→首塚→色金山歴史公園)</p>	<p>74ページ「フィールドミュージアムルート計画」にあるように主要合戦史跡めぐりコースなど5コース考え、ここへ訪れる人が長久手合戦の臨場感、距離感など体験できる仕組みを計画することを考えています。</p>
21	<p>長久手特産品を使った食べ物に武将の家紋をたててほしい 色々なグッズの販売をしてほしい。</p>	<p>特産品やグッズの販売については、整備計画にありませんが、今後、市民参画で公園管理、運営を考える際、検討していきたいと思います。</p>
22	<p>北側林ゾーンに子どもたちのために木製のアスレチック遊具(ターザンロープ、つり橋、ジャングルジムのようなものなど)を作ってほしい。また南側の庭園には水が流れるような堀があるけれど夏場だけでも水がちゃんと流れていたらいい。</p>	<p>公園北側については、国史跡に指定されているため、後世に地形や景観を保存継承する必要があり、アスレチック遊具等の設置することは難しく、ご意向に沿うことはできません。</p> <p>水場の整備計画はありませんが、今後、市民参画で公園管理、運営を考える際、検討していきたいと思います。</p>